

開講科目名	日本語特別演習 IIA (JLPT N2対策)			
成績入力担当	林 美保	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG050	曜日・時限等	水3(対面)	時間割コード

授業のテーマ

日本語能力試験N2対策

授業の到達目標

1. 日本語能力試験N2合格に必要な能力を付ける。
2. 言語知識(文字、語彙、文法)、読解、聴解の能力を伸ばす。

授業の概要と計画

シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。
授業のスケジュールは以下の通り。

- 第1回 4/8 : コースガイダンス、言語知識(文字・語彙)
- 第2回 4/15: 読解
- 第3回 4/22: 聴解、言語知識(文法)
- 第4回 5/8 : 言語知識(文法)
- 第5回 5/13: 読解
- 第6回 5/20: 聴解
- 第7回 5/27: 最終試験
- 第8回 6/3 : 最終試験フィードバック・まとめ
- 計8回(15時間)

第2回～第6回まで毎回、漢字・語彙の小テストがあります。出題範囲は授業で確認してください。

各回の内容は変更されることがあります。

成績評価方法

1. 小テスト30%
 2. 最終試験50%
 3. 課題10%
 4. 授業活動及び授業参加度10%
- ※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

成績評価基準

1. 学習した語彙・表現、文体、構成などを理解しているかで評価される。
2. 授業内で提示する練習やタスクにどのように取り組んでいるかで評価される。
3. 課題に熱心に取り組んでいるか、適切に発言しているかで評価する。

履修上の注意 (関連科目情報)

対象者:

本授業は中級レベルの授業である。 初中級レベルの学習を終えている、あるいは、GEC-JTestで「中級レベル」と判定された学習者を対象とする。

交換留学生(特別聴講学生)履修可

関連科目情報:

事前・事後学修

【事前学習】

1. 漢字、語彙の学習をすること（毎回小テストを実施、出題範囲は授業内で知らせます）。
2. 文法、読解については次回分の学修範囲を予習しておくこと。

【事後学修】

語学習得の効果向上のため復習を推奨する。復習のための素材は、授業内で紹介する。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。授業時間外に質問があるときは、担当教員宛にメールを送ってください。

メールアドレス:m-hayashi[AT]people.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実線 @ (半角) に置き換えた上で宛 先に入力。

学生へのメッセージ

能力試験N2合格を目指してがんばりましょう。

今年度の工夫

教科書

必要に応じてハンドアウトを配布する。

文字・語い・文法まとめドリル 新にほんご500問 / 松本紀子・佐々木仁子 : アスク出版, 2015, ISBN:9784872179422

参考書・参考資料等

新完全マスター文法 日本語能力試験N2 / 友松悦子・福島佐知・中村かおり : スリーエーネットワーク, 2011, ISBN:9784883195657

新完全マスター読解 日本語能力試験N2 / 田代ひとみ, 中村則子, 初鹿野阿れ, 清水知子, 福岡理恵子 : スリーエーネットワーク, 2011, ISBN:9784883195725

新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 / 伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治 : スリーエーネットワーク, 2011, ISBN:9784883195749

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語 日本語能力試験 中級 交換留学生(特別聴講学生)可